

あなたの生きがいと元気を応援する

情報誌

南部ニルバーエリア

老人福祉 ふれあいタウン

第29号 平成13年3月19日発行



荘厳にて優美なり

語りを聞く会(雅楽演奏会) 1/14

新館大広間を会場に、なかなか生では聴くことができない『雅楽』の演奏会が行われました。演奏していただいたのは「平鹿雅楽同好会」のみなさん。難しい楽器が多いだけに、一つ一つの音に演奏者の研ぎ澄まされた集中力が感じられ、ピンと張りつめた緊張感が会場を包みました。楽器の名前や曲の解説をしてくれた丁寧な進行のおかげで、雅(みやび)な悠久の調べに酔いしれることができました。



- 21世紀インタビュー……………②～④
- 21世紀ってどんな100年!? こんな100年!? ……………⑤
- エリアの元気レポート
—あんなこと こんなこと—……………⑥～⑦
- 毎日がリフレッシュ……………⑧
- 私の思い出ばなし……………⑨
- 安心、請負人登場……………⑩
- 知ってお得なエリア情報……………⑪
- シルバーケアセンター利用案内 ほか……………⑫



安心請負人登場

任せて
おくんお
さゆまし!

新聞等で、レジオネラ症による肺炎などの発症について耳にしますが、「レジオネラ」とは何ですか？

土の中や河川、湖沼などの自然界に生息しているレジオネラ属菌は、アメーバなどの原生動物に寄生しながら二〇度〜五〇度で増殖します。私たちの身の回りでは、冷却塔水や循環式浴槽水などで多く検出され、この菌に汚染された目に見えないほどの細かい水滴（エアロゾル）を吸い込むことで感染します。レジオネラ症は人から人へは感染しませんが、乳幼児・高齢者・抵抗力の低下している人や疲労で体力の落ちている人が肺炎になるケースがあります。

エリアの空調は、レジオネラ症が発生する心配はありませんか？

設備機材に発生源になるものは使われておりませんので、大丈夫です。

私たちが気を付けることと言えばどんなことでしょうか？

設備の衛生管理は、行政の指導水準を保って実施していますが、レジオネラ属菌は外出時に土埃と一緒に人体に付着している場合が多いので、入浴利用される場合は、上がり湯を使って良く体を洗ってから浴槽に入るようにしてください。また、浴槽内で体を洗ったりタオルを入れたりしないように協力してください。

コミュニティセンターの大浴場や入居施設のお風呂はどうですか？

コミュニティセンターにおいては一日置きに、利用者の多い日・祝日には一日ごとに全換水を実施しています。その際は浴槽の清掃はもとより、塩素材を注入して濾過循環装置や循環配管内部及び浴槽水の消毒をしています。また、レジオネラ属菌に直接対応する目的で、新しく開発製造された高性能水処理用除菌剤を使用する予定です。各入居施設の場合も同様に塩素剤を使って消毒しています。



コミュニティセンター
主任技能技師
渡部 香

軽費老人ホーム入居のご案内

■施設の概要：自然豊かな絶景の地にあつて、世代間交流・地域交流の場コミュニティセンターや診療リハビリセンターと棟続きというのが特徴。町立病院や老健施設・特別養護老人ホームなど福祉施設が隣接した巨大な福祉ゾーンの一角に位置しています。居室は単身三十八室、夫婦室八室で、プライバシーに配慮しています。



■利用できる方：六十歳以上（夫婦の場合は、どちらかが六十歳以上）で、日常生活が自分ででき、利用料を納入できる方。

問い合わせ先：軽費老人ホーム
☎〇一八二(二六)三八八六

老人専用マンション入居のご案内

■施設の概要：奥羽山脈と烏海山を彼方に望み、豊かな老後を健やかに過ごせるハードとソフトを取りそろえてあります。趣味活動や生涯学習への参加も含め、多様なスタイルの生活が可能です。居室は単身十室、夫婦室七室で、プライバシーに配慮した造りになっています。



■利用できる方：六十歳以上（夫婦の場合は、どちらかが六十歳以上・他方が五十歳以上）で、入居一時金及び月々の生活費の支払いが可能な方、身の回りのことが一人でできる方。

問い合わせ先：老人専用マンション
☎〇一八二(二六)三八八七

平成12年度 生き生き学園閉講式

入居者・利用者そして地域住民の生涯学習の場「生き生き学園」の今年度の活動を締めくくる式典。おかげさまで今年度もたくさんの受講者に参加していただくことができました。

- 日時 平成13年3月21日(水)
午後1時30分～午後2時
- 会場 新館大広間

ぷるる

レクリエーション 大会のお知らせ

冬期間でも元気に泳げるエリアの温水プール。健康づくりにこれを見逃すことはありません。まずはレクリエーションでプールの楽しさを実感してみたいはかがでしょう。

- 日時 平成13年3月24日(土)
午前10時～午前11時30分
- 会場 屋内温水プール
- 参加者 定員60名
(4歳以上の子ども)
- 参加費 1人600円

ボランティア活動報告

(12/1～2/22)

活動日	個人・団体名
12月13日	大森町大町寿会のみなさん(4名)
12月22日	大森町剣花老人クラブのみなさん(4名)
1月10日	大森町袴形第一老人クラブのみなさん(4名)
1月19日	大森町板井田敬神老人クラブのみなさん(4名)
1月23日	大森町松田長寿会のみなさん(4名)
1月30日	大森町福寿老人クラブのみなさん(5名)
2月2日	白山小学校「なかよしふれあい委員会」のみなさん(9名)
2月7日	大森町舟渡竹の会老人クラブのみなさん(4名)
2月10日 (雪まつり)	東海林陽子さん、東海林真由美さん、渡部貴子さん 奥山美幸さん、佐藤和也さん
2月15日	大森町武道老人クラブのみなさん(4名)
2月22日	大森町壮寿会老人クラブのみなさん(4名)

ありがとうございました。

Area 知ってお得な information エリア情報

語りを聞く会 寸劇—大森家の人々 生活習慣病編……糖尿病について

生き生き学園閉講式に引き続き、町民の健康づくりの目的で始められたという大森町食生活改善推進委員のみなさんによる寸劇を披露していただきます。

- 出演 大森町食生活改善推進委員
- 日時 平成13年3月21日(水)
午後2時～午後2時40分
- 会場 新館大広間

入場料無料



ミニミニ ギャラリー 展示予定

山田次郎工芸展

～木の瘤(こぶ)と
模型の家の作品展～

農業のかたわら、自然が造りなす不思議な形と昔ながらの家—人工美—のハーモニーをお楽しみください。湯沢市在住。

- 会期…平成13年3月13日～4月30日

榊田恵美子ちぎり絵展

身近にある「紙」を使った芸術。どんな紙でも榊田さんの限りなく広がるイメージと魔法のような指にかかるとすてきな夢のアートに変わります。大曲市在住。

- 会期…平成13年5月1日～5月31日

黒沢今日子アートフラワー展

黒沢さんは地元大森町に在住。今までも、季節にあったすてきな作品を展示してもらっていますが、自然の曲線が織りなす美しさとあざやかな装飾が好評でした。今回の作品展も楽しみです。

- 会期…平成13年6月1日～6月30日

エリア利用状況

(4月～2月までの累計)

コミュニティセンター

有料利用	今年度	前年度	増減
宿泊人	1,317	1,401	△ 84
休憩人	16,349	21,400	△ 5,051
会議室等時間	202	509	△ 307
屋内運動広場時間	344	314	30
屋内温水プール人	19,235	20,752	△ 1,517

シルバーケアセンター

利用者数	今年度	前年度	増減
利用者数人	7,032	6,429	603

診療リハビリセンター

利用者数	今年度	前年度	増減
内科人	9,121	9,699	△ 578
リハビリ人	6,194	5,935	259
歯科人	559	607	△ 48

公的介護保険のすきま

を埋めるサービスを提供します

エリアの利用案内

在宅老人介護センター(シルバーケアセンター)

介護保険では「認定」を受けなければサービスを利用することができませんが、「認定」を受けている人でも対象外の人でも『楽しく老後を過ごしたい』という気持ちさえあれば送迎バス付きで一日安心してご利用できるサービス事業を実施しています。自宅で介護保険サービスを受ける場合、電気・ガス・灯油・水道・食料などは自己負担になりますが、施設で過ごせば一日の利用料金のみで充実したサービスを利用することができます。

こんな人にご利用いただいています。

- ①楽しく話ができる友だちが欲しい
- ②日中、一人で過ごすのはさびしい
- ③介護保険の「認定」からもれたが、何らかの福祉サービスを必要としている
- ④何か趣味を持ちたいと思っている

というご要望をお持ちの方々に、次のサービスを提供します。

- ①自宅まで送迎バスを運行します(ただし、道路事情によります)
- ②昼食を提供します ③お風呂(原則として介助なし)をご利用できます
- ④健康状態のチェックや生活全般についての相談ができます
- ⑤生涯学習教室「生き活き学園」の健康・創作・生きがいの各種教室に参加できます
- ⑥花見・夏祭り・秋の祭典・忘年会・雪まつり……など季節行事に参加できます

気になる料金は

前年の納税額によりますが、詳しくは右記までお問い合わせください。

お問い合わせ先

シルバーケアセンター
☎0182-26-4606

元気いっぱい

スタッフレポート



ミニかまぐらは、こーやって作るモンだ!! (和也 談)

雪まつりの準備にボランティア

イベントを前日に控え、疲労困憊(ひろうこんばい)でボロボロになっていたとき、な・なんと昨年まで企画指導課の敏腕ディレクターとして鳴らした佐藤和也さん(やまばと学園)がボランティアとして来てくれたのです。持ち前の明るい笑顔を振りまいて作るも作った200個以上のミニかまぐら。和也さんのきらきらと輝く無垢な瞳は、まるで燈火した後のミニかまぐらの如く私たちの心を癒してくれました。本当にありがとうございました。(これだけ書いたら、来年も来てくれるべしや。)

編集後記

『グローバルスタンダード(世界標準)』という考え方がだいぶ広まってきているようです。世界中で起こったことが瞬時に伝えられる情報化の社会では、情報を処理する道具・手順・考え方などを標準化させた方が効率的であるということでしょうか。

立春の前日、すさまじい吹雪を見ながら「立春が荒れると四十八日(雪が)降り続ける」と父がつぶやいていました。全国的にそうなのかは分かりませんが、少なくとも県南地域では昔から言い伝えられていた気象パターンでしょう。こうした言い伝えはグローバルスタンダードの考え方からはかけ離れたものかも知れませんが、何百年の歳月を経て受け継がれたという意味では、「ローカルスタンダード(地域標準)」と言えるでしょう。そんなローカルな情報を知りたいなあ。だって、こんな大雪どう考えても『世界標準』じゃないですよ。

町の活性化で 期待される エリアの役割

第2回

大森町商工会経営指導員 伊藤明雄氏
聞き手 吉野企画指導課長



■伊藤明雄氏のプロフィール

昭和30年1月18日生まれ。昭和48年に大森町商工会に勤務した後、十文字町商工会で経営指導員となる。平成元年より大森町商工会に戻り、商工業者の経営改善や町の活性化に手腕をふるっている。

「地元の活性化について、エリアの事業をどのようにとらえていますか。」

夏祭りはたくさんの人出があり、雰囲気もとても良いと思っています。

また、雪まつりは地区住民や各種団体の協力をうまくいただきながら運営しているなどという感想を持っています。イベントを通じて

地域の交流を図り、地元の活性化に向

けて一緒にやっつけていきましょうという姿勢がよく分かりますので、商工会青年部を中心に参加させていただいています。

「エリアと商工会、事業で共通する点はありませんか。」

商工会自体の事業活動は「地域経済の活性化」であり、具体的には商工業者の経営改善・発達のための相談指導や商店街の活性化事業、特産品開発によ



吉野企画指導課長

る産業創出・雇用創出などが挙げられます。この他には、地域振興事業としての賑わいづくりのためのイベント開催事業もありますが、この点がエリアと共通する部分ではないでしょうか。

「今まで行ってきたイベント開催事業にはどのようなものがありますか。その中で課題等についても教えてください。」

現在継続しているのは、観光協会との協力で実施している「田楽灯籠」、町の運動会や産業祭での「屋台設置」、そして「エリアのイベントへの協力」などが大きいところでしょうか。かつては、二十年続いた商工会青年部主催の

エリアが実施している地域交流事業は、夏祭り、秋の祭典、雪まつりなどのイベント以外にもヘルパー養成事業、中学生や高校生を対象にした福祉セミナー、生涯学習教室（生き生き学園）、小学生を対象にした親子ふれあい体験教室（チャレンジ教室）などがあります。いずれの事業も好評を得ながら実施していますが、地元大森町と足並みをそろえて活動することで、より内容の濃いものになると思います。今回は、町の活性化に尽力されている商工会の経営指導員・伊藤明雄氏に商業を営む側の立場からエリアにどのような協力を望んでいるのかお話を伺います。

「夏祭り」や十年以上続いた「ミニかまくら祭り」などがありました。商工会の後継者不足やイベントのノウハウがうまく後継者に伝わらなかつたりして、現在は行っていません。しかし、夏祭りは商店街内でぜひとも復活させたいという青年部員の声もあり、実現したいと思っています。

課題としては、経済事情が芳しくないために協賛金が集まらず、長年続いたイベントが開催できなくなるケース

も見られる時代で、イベント自体が大きくなるに連れて重荷に感じるようなところもあるようです。ノウハウ・ハウは記録して引き継ぐことはできませんが、イベントを開催する場所の設備環境（交通手段・駐車場・トイレなど）といった条件が揃っていないと難しいでしょう。その点、エリアは設備が整っている方で、イベントはやりやすいと思います。

「地元が活性化して行くためには、商工会の側から見てエリアに何を期待したいと思われませんか。」

大森町が町外に誇れるものの一つに、エリアを町民の多くが挙げると思います。建物がだんだん古くなつていく分、ソフト面を向上させて町内外の利用者を迎えるはどうでしょう。イベントは一時的ですが、町外からも人を呼び寄せることができる要素を十分持つて



生きがい農園でハーブを使った活動を行う
（「ハーブ&ドライフラワー会」の協力）



夏祭り - 8月上旬に行う一大イベント -
（商工会の協力）



秋の祭典 - 11月上旬に行う文化祭 -
(食生活改善グループの協力)

いるし、そのような事業活動もされているので、この点を充実させることが効果的だと思います。「健康の丘おおもり」を含めて、福祉サービスが充実しているというところでPRできれば入場者や視察団体も多くなるでしょうし、地元の活性化につながると思います。

「エリアの事業内容は、地域住民に理解されていると思われませんか。」

エリアは敷居が高いという人もいるようですが、私はそうは思いません。子ども会などを通じて利用させてもらっていますし、イベントにも参加しています。ただ、お客さんを待っているばかりではなく、

野球・駅伝・ゴルフ・スキーなど町内で行われる大会やワインパーティーなどのイベントにも職員の方々に参加してもらい、存在をアピールする必要があると思います。活き活き学園などの作品を総合学習センター（町立図書館）に展示するなどという活動も行っているかがでしょう。

「ありがとうございます。存在のPRとアピール、そしてソフト部分を重視した事業が地域の活性化につながる事がわかりました。今後の運営に生かして参りたいと思います。」

待ってました あなたもエリアの 御意見番



エリアの お湯の効き目

大森町上野在住
佐藤重一さん

昨年の今頃は風邪を引いており、点滴を受けたり薬を飲んだり、三月末に体調が戻るまで三回も病院に通ったので、今年は早めに予防接種でもしようかと思っていました。

ところが、その話をゲートボール仲間にしたしたらエリアのお風呂を薦めてくれる人がいました。ゲートボールやスマイルポールの練習でエリアには足を運んでいましたので、それはよいことを聞いたと思います、午前一回午後一回入浴するようにしました。すると、二月に入っても体調が良く、大好きなゲートボールやスマイルポールの練習を休むことなく続けることができました。これもエリアのお湯のおかげと喜んでいるところです。

浴槽に入る前に全身を洗うところまでは皆さん一緒ですが、いろいろある浴槽をどれから使うかは人それぞれ考えが異なることでしょう。私は、最初に「気泡の湯」を使います。ゆっくり温まってから腹這いになり全身をマッサージした後、「打たせ湯」で痛みの取れない膝を打たせます。そうすると膝の痛みを気にすることなくぐっすりと眠ることができるのです。「サウナ」には二、三分しか入りませんが、「ラジウム浴」ではのんびりと体を休めるように入浴します。

偏食するなど言いますが、入浴も偏浴なく毎回入るようになっていいるせいか、今年の冬は楽しく過ごしています。

21世紀って どんな100年!? いんな100年!?

エリア入居者と、新しい世紀の大海に限りない夢と希望をもって船出する白山小学校児童の「二十一世紀へ向けてのメッセージ交換」第二段。前回紹介できなかった子どもたちのメッセージです。みんなが優しい気持ちで生活できる社会を自分たちの手で作り上げたという気持ちが伝わってきます。



緑をどんどん広めたい

森林の多い 21世紀へ

白山小学校6年生
佐藤恵理佳さん

これから来る21世紀は、緑の多い21世紀にしたいです。なぜかという、今は東京などに行くと、木や花はあまり咲いていません。この大森町は、とても木や草花などがたくさん咲いていて、みんないきいきしています。私は、このいきいきを21世紀にも伝えていきたいのです。しかし、森林は少しずつなくなっています。だから私は、みんなで木や花を植えたり、話し合いをしてもっと自然を広めたいです。たとえば、道に花や木を植えるといいと思います。そうすると、町の人などがとてもいい気持ちになるし、にこにこ笑います。みんながいきいきできる大森町を21世紀に広めていきたいです。



白山小学校6年生
福田隆恵さん

リサイクルの多い 社会を創ろう

私は、学校でもやっているリサイクル活動を二十一世紀にも生かして、ゴミの少ない環境を創りたいと思います。今、私たちがやっているリサイクル活動は、「あったかハート大作戦」と言って、空き缶・プルタブを集めて福祉施設に車椅子を送ったり、もう着られなくなったYシャツをいろんなサイズのハンカチにしてスタンププリントをしたり、ペットボトルやピンを集めてペインティングをしたりしています。私は、これからの総合の時間を利用して、みんなにも協力してもらい、ベトナムのストリートチルドレンに文房具を送って使ってもらいたいと思います。

このようなりサイクル活動を二十一世紀まで続けて、みんなにやさしい気持ちを味わってもらえるように、がんばりたいです。



白山小学校のみなさんは
エリア入居者にも優しく
接してくれています

真っ白でかわいいリースができました



チャレンジ・ザ・冬

12/3
1/10



クッキングでは「バエリア」に挑戦した!

のシェフが指導した「クッキング教室」の五教室を用意。六三七名の参加がありました。アンケートの結果、子どもたちが作品の仕上がりに満足した回答が多かったのに対し、親の方は子どもと一緒に作ることに喜びを感じてくれたようでした。

恒例となった冬休みの親子ふれあい体験教室。今回は、親子に根強い人気の「陶芸教室」・クリスマス用の素敵なりーすづくり「アートフラワー教室」・干支の置物へ色づけする「絵付け教室」・本格的な革細工に挑戦する「レザークラフト教室」・レストラン

エリアの 元気 レポート

REPORT



本格牛革の小物入れが完成!

エリアの主な行事 (1/1~2/28)

- 1/1 初釜 (養)
- 1/4 新春書き初め大会 (ふ)
- 1/6 大森町消防団・交通指導隊出初め式
- 1/7 ミニ4 駆大会・第4ステージ
- 1/9 高校生福祉セミナー
- 1/10 誕生会 (養)
- 1/17 新春お年玉付なつめロと踊りの会 (ふ)
- 1/27 キッズクラブ (ふ)
- 2/7 利用者会議 (養)
- 2/14 バイク食 (養)
- 2/21 交通安全講習会
- 2/24 キッズクラブ (ふ)
- ※(シ) シルバーケアセンター
- (養) 養護老人ホーム
- (軽) 軽費老人ホーム
- (マ) 老人専用マンション
- (ふ) 子どもと老人のふれあいセンター



新しい年・そして新しい世紀の到来を入居者・利用者の皆さんと共にお祝いしました。コミュニティセンター営業開始日の1月4日は、玄関ホールを会場にして恒例となった「鏡割り」と地元大森町八沢木地区に伝わる「獅子舞」でご来場の皆さんの健康と繁栄を祈願。翌5日は、新館大広間にて藤崎三平の津軽漫芸をメインにした唄と踊りのショーを行い、エリアは新しい世紀を明るく賑やかな笑い声で幕開けました。

新春 お楽しみ会

1/4
1/5

津軽漫芸の「こっから舞い」
場内は大爆笑でした



縁起ものの見事な獅子舞

雪まつり

エリア

2/10



大森町の伝統文化を聴かせていただきました

地域の伝統文化を通じて世代間交流を図ることを目的として行われてきたこの行事も今回で12回目。例年以上の降雪があったため、会場づくりの準備は万全だったのですが、当日はあいにく吹雪まじりの天気で来場者数も少なめの1,700名。急ぎは屋外のゲームを屋内で開催することになりましたが、佐川舞踊交流一座の楽しい歌と踊り・地元で伝わる「八沢木節」が披露されると祭りは最高潮。そしてお楽しみの甘酒・ぜんざいの無料サービスに舌鼓を打ちながら温かいエリアの雪祭りを満喫していただきました。

みんなで鬼を追っ払え!

2/2

節分



鬼もお福さんも仲良くポーズ!

日本各地に伝わるいろいろな『鬼』の伝説から考えて、鬼は日本の先住民だったという説もあるとか。『なまはげ』のように私たちを戒めてもらうために神格化された鬼もいますが、エリアに現れた鬼は迫力・体力ともに入居者に圧倒されっぱなしの憎めないキャラクター。入居者のみなさんは「かわいそうだなあ〜。」と言いながらも、健康と長寿を願いつつカっぱい豆をぶつけていました。

健康の話聞く会

2/16

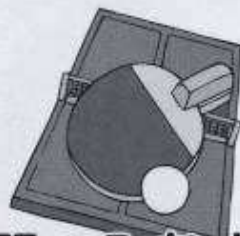
秋田県リハビリテーション精神医療センターの高橋祐二先生を講師に招いて『高齢者の心の健康』というテーマでお話を伺いました。これまでは内科・整形外科・歯科関係のテーマが多かったのですが、高齢者特有の心身の変化に伴う『心の問題』について講演をしていただいたのは初めて。会場となった視聴覚室には入りきれないほどの参加者があり、関心の高さがうかがわれました。高橋先生は「若いときに比べて色々な機能が衰えていきますが、悩み続けていても何の解決にもなりません。病気に気をつけながら生活のリズムを守り、自分の役割を見つけ、若い心で楽しく暮らしてください。」とアドバイスしてくれました。



「くよくよ悩まないで明るく生活しましょう」とアドバイスしてくれました



毎日が リフレッシュ



卓球仲間のみなさん

女子中学生とコンビを組んで楽しい大会でした

毎朝、屋内運動広場で練習に励んでいるエリア卓球仲間のみなさんについては前々号で紹介しましたが、去る二月二十五日の日曜日に大森町民体育館を舞台に行われた「町民卓球大会」に九名が参加。大森中学校の女生徒とペアを組んでの勝ち抜き戦に、男性入居者は大喜びだったとか……。軽費老人ホームの矢野亮一さんの組が優勝、佐藤キヌさんの組が第三位と大善戦したようで、中学生のスピードに技で対抗するなど技術力もアップしたとのこと。若いエネルギーを間近にして、まさに「リフレッシュ」できました。

シルバーケアセンターで知り合った友人に誘われるまま陶芸教室に足を運ぶようになって1年半。今では創作活動にいそしむ傍ら、掃除から作品の窯出しなどの雑用もこなしてくれ、創作仲間にはちょっと頼られる存在です。茶碗や箸置きを中心に作っていますが、娘さんや奥さんの兄弟が遊びに来てはもらっていきそうで、「また作らねばだめだあ。」と笑顔で話してくれました。自分を頼る誰かがいて、自分が作ったものを喜んで使ってくれる誰かがいることで、本当の『生きがい』を味わうことができるのかも知れません。

小野寺 正之助さん

シルバーケアセンター



陶芸教室、チャレンジ教室の手伝いに大活躍

あの頃 あの頃 私の思いがけぬおばなご

思い出の品 数珠

養護老人ホーム

小川 ト ミさん

新京での楽しく充実した日々

私が父を亡くしたのは、大森尋常高等小学校の在学中。まだ幼かった私は母に手を引かれ、札幌で暮らしていた二人の兄を頼って故郷の後になりました。札幌では長兄の所に身を寄せていましたが、新京（今の長春）で割烹料理を営んでいた姉夫婦に誘われ、十八歳の時に母や兄と別れて一人異国の地に向け海を渡る決心をしました。関東軍の軍人にもひいきにされていた義兄の店は五十人もの従業員を抱えるほど繁盛しており、主に経理を担当することになった私は会計・集金・仕入れなど目が回るほど忙しい日々を過ごすことになりましたが、その一方では満州国の首都・新京のダンスホールで踊ったり歌ったりと、刺激的で楽しい毎日に酔いしれていました。

義兄が買ってくれた「数珠」

突然の訃報が届いたのは、渡満した翌年の六月。札幌で魚屋を営んでいた次兄が突然亡くなったのです。私は十九歳の厄年ということ

葬儀への参列を見合わせ、異国の地で悲しみに

暮れていきましたが、追い打ちを掛けるように同年八月、今度は母が亡くなったとの知らせが届きました。姉と私は親兄弟の死に目にもあえないほど遠い土地に来てしまったことを今更ながら切なく思い、止めどなく溢れる涙で袖をぬらしました。新京の空を見上げ、空はつながっているのになぜ会いに行けないのだろう、鳥のように飛んでいけたらと幾度となく思ったものでした。

そんなある日、つらく切ない思いをどうすることもできない私たちを不憫に思った義兄が数珠を買ってくれました。姉には琥珀（こはく）と翡翠（ひすい）の数珠、私には支那の珊瑚（さんご）と瑪瑙（めのう）で作った数珠でした。おそらく高価な買い物だったと思います。その日から私は亡き母と兄の供養にと、般若心経を唱え続けることにしました。

今もかかさぬ朝夕の祈り

忙しい毎日は一時的に悲しみを忘れさせても



義兄の気持ちがいこもった思い出の数珠

くれましたが、一人つきりになる朝晩はまぶたの奥に母や兄の笑顔がよみがえってきました。戦争が終わり、私は生まれ育ったこの地に帰ってきましたが、今でも朝には朝を迎えたことを感謝しつつ、夕には一日を無事に過ごせたことを感謝しつつ、この数珠を使って仏壇に手を合わせています。父、母、兄をはじめ多くの知人の冥福を祈りながら。



自分を支えてきてくれた人たちを想い、手を合わせます